

## 事務事業評価調書

事務事業名	健康診断実施事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	関連法案の改正に伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	学校保健安全法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小中学校・幼稚園等に通う幼児、児童、生徒											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	幼児、児童、生徒の健康の保持増進を図る。												
			学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。											
(7) 事業概要	学校保健安全法により健康診断に従事することと定められている学校医、学校歯科医による、幼児、児童、生徒の健康診断を実施する事業													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		107,165	104,649	107,925	105,074	108,916							
	人件費	職員数	人	0.40	0.40	0.40	0.40							
		総額(B)	千円	3,341	3,216	3,268	3,160							
	総事業費(A+B)		110,506	107,865	111,193	108,234	112,137							
	(内訳)	特定財源(C)		2	2	2	1							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	(内訳)	その他		2	2	2	1							
		市負担(D)		110,504	107,863	111,191	108,233	112,135						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		110,504	107,863	111,191	108,233	112,135								
財源計(C+D)		110,506	107,865	111,193	108,234	112,137								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 学校・園で学校保健安全法に基づいた健康診断を実施する。	目標値	(単位:校・園)	70.00	70.00	70.00
			実績値	(単位:校・園)	70.00	70.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 健康診断を実施した学校・園数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,540.93	1,547.74		
			一般財源(単位:千円)	1,540.90	1,547.73		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 学校・園で学校保健安全法に基づいた健康診断を児童・生徒に行う。	目標値	(単位:人)	30,443.00	30,571.00
	実績値			(単位:人)	30,375.00	30,491.00	
	達成度(%)		99.8	99.7			
	目標値の積算方法 年度当初の全幼児、児童、生徒数(健康診断受診可能者数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.55	3.55		
			一般財源(単位:千円)	3.55	3.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校保健安全法に基づき、継続して実施する。				

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	健康診断実施事業	事業区分	その他
事務事業番号	00909				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00909
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で幼児、児童、生徒の健康診断を行うことと定められているため、事業を行うことは妥当である。 また、幼児、児童、生徒の健康の保持増進を図るために有効である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

学校保健安全法施行規則の改正を受け、平成28年度から、本市においても児童生徒等の健康診断項目において次のとおり変更した。

(1)座高の検査を削除すること。  
(2)ぎょう虫卵の有無の検査を削除すること。  
(3)「四肢の状態」を必須項目として加えること。

## 事務事業評価調書

事務事業名	児童生徒等検診委託事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	関連法案の改正に伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	学校保健安全法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明		法定外検診(子どもの生活習慣病予防検診)を実施											
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市立小中学校に通う児童、生徒											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	児童、生徒の健康の保持増進を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校教育の円滑な実行と成果の確保が図られる。												
(7) 事業概要	学校保健安全法に定められている児童、生徒の健康診断を委託して実施する事業													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	02	中事業	01	小事業	02
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		25,817	23,894	26,167	24,969	26,355							
	人件費	職員数	人	2.56	2.56	2.56	2.56							
		総額(B)	千円	21,382	20,580	20,916	20,224							
	総事業費(A+B)		47,199	44,474	47,083	45,193	45,680							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	0	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		47,199	44,474	47,083	45,193	45,680						
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	一般財源		47,199	44,474	47,083	45,193	45,680							
財源計(C+D)		47,199	44,474	47,083	45,193	45,680								
(10) (該当するものは全部チェック)	実施方法		委託先	①	(一社)吹田市医師会									
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託			②	国立研究開発法人国立循環器病研究センター									
			③											
			主な委託内容	学校心臓検診、子どもの生活習慣病予防検診										
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①										
				②										
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 学校で学校保健安全法に基づいた健康診断を実施する。	目標値	(単位:校)	54.00	54.00	54.00
			実績値	(単位:校)	54.00	54.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	健康診断を実施した学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	823.59	849.72	
			一般財源(単位:千円)	823.59	849.72		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 学校で学校保健安全法に基づいた健康診断を児童・生徒に行う。	目標値	(単位:人)	29,482.00	29,703.00
	実績値			(単位:人)	29,316.00	29,515.00	
	達成度(%)		99.4	99.4			
	目標値の積算方法	年度当初の全児童、生徒数(健康診断受診可能者数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.52	1.55	
			一般財源(単位:千円)	1.52	1.55		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校保健安全法に基づき、継続して実施する。				

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	児童生徒等検診委託事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00910				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00910
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で児童、生徒の健康診断を行うことと定められているため、事業を行うことは妥当である。受診率は99.4%である。 また、児童、生徒の健康の保持増進を図るために有効である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	教職員健康診断事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	関連法案の改正に伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	学校保健安全法 労働安全衛生法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		法定外検診(乳がん、子宮がん、大腸がん、ストレスチェックの各検診)を実施											
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市立小中学校に勤務する府費負担教職員												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	教職員の健康の保持増進を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校教育の円滑な実行と成果の確保が図れる。												
(7) 事業概要	学校保健安全法及び労働安全衛生法(平成27年12月施行改正)に基づき、教職員の健康診断およびストレスチェック他の健康管理事業を実施し、健康の保持増進を図る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	02	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		14,583	12,037	15,701	12,454	17,901							
	人件費	職員数	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96							
		総額(B)	8,018	7,718	7,844	7,584	7,730							
	総事業費(A+B)		22,601	19,755	23,545	20,038	25,631							
	(内訳)	特定財源(C)		4	0	4	0	0						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		4	0	4	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		22,597	19,755	23,541	20,038	25,631						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	一般財源		22,597	19,755	23,541	20,038	25,631							
財源計(C+D)		22,601	19,755	23,545	20,038	25,631								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (一社)吹田市医師会											
			② (医)崇孝会 北摂クリニック											
			主な委託内容	③ (一財)阪大微生物病研究会										
				教職員定期健康診断、乳がん検診等										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 学校保健安全法に基づいた健康診断を実施する。	目標値	(単位:校)	54.00	54.00	/
			実績値	(単位:校)	54.00	54.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 健康診断を実施した学校数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	365.83	375.89		
			一般財源(単位:千円)	365.83	375.89		
	②	指標内容 労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを実施する。	目標値	(単位:校)	0.00	3.00	
実績値			(単位:校)	0.00	3.00		
達成度(%)			0.0	100.0			
目標値の積算方法 ストレスチェックを実施した学校数		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	6,766.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	6,766.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 学校保健安全法に基づいた健康診断を教職員に行う。	目標値	(単位:人)	1,902.00	1,917.00
	実績値			(単位:人)	1,647.00	1,639.00	
	達成度(%)		86.6	85.5			
	目標値の積算方法 健康診断を受診できる府費負担教職員数4月1日現在、市内各小・中学校よりの提供データ	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	11.99	12.38		
			一般財源(単位:千円)	11.99	12.38		
	②	指標内容 労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを実施する。	目標値	(単位:人)	0.00	185.00	/
実績値			(単位:人)	0.00	141.00		
達成度(%)			0.0	76.2			
目標値の積算方法 ストレスチェックをできる府費負担教職員数4月1日現在、市内各小・中学校よりの提供データ		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	143.96		
	一般財源(単位:千円)		0.00	143.96			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>学校保健安全法に基づき、継続して実施する。 また、吹田市学校産業医による健康相談その他の健康管理事業の充実を図っていく必要がある。 平成29年度においては、市内の全小・中学校にてストレスチェックを実施する予定である。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	教職員健康診断事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00911				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18			
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00911
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

府費負担教職員数は、4月1日現在における市内各小・中学校からの提供データによる。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>教職員の健康診断は学校保健安全法により実施することが定められていることから、事業を行うことは妥当である。          平成27年度から、産業医による健康相談とともに、健康診断結果に基づく事後指導を実施している。          平成28年度は、50人以上の教職員等が在籍する3小学校にてストレスチェックを実施した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年12月施行された改正労働安全衛生法により、メンタルヘルス関係の取り組み強化が求められている。

## 事務事業評価調書

事務事業名	学校環境衛生管理事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正 内容	関連法案の改正に伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	学校保健安全法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小中学校・幼稚園											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校・園の環境衛生を維持する。												
(7) 事業概要	学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準により、幼児、児童、生徒の健康を保持するために、プール水質検査、教室内空気検査、照度検査等を行い学校の適切な環境を維持する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	02	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		27,575	28,260	28,364	29,369	29,605							
	人件費	職員数	人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15						
		総額(B)	千円	1,253	1,206	1,226	1,186	1,208						
	総事業費(A+B)		28,828	29,466	29,590	30,555	30,813							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		28,828	29,466	29,590	30,555	30,813							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		28,828	29,466	29,590	30,555	30,813								
財源計(C+D)		28,828	29,466	29,590	30,555	30,813								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(一社)吹田市薬剤師会										
			②											
			③											
	主な委託内容		総トリハロメタン検査他学校プール水質検査											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 学校保健安全法及び学校環境衛生基準に基づき快適な学校環境を保障する。	目標値	(単位:校・園)	70.00	70.00	70.00
			実績値	(単位:校・園)	70.00	70.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	市立小中学校、幼稚園数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		420.94	437.07
				一般財源(単位:千円)		420.94	437.07
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が困難な場合		①	指標内容 学校保健安全法及び学校環境衛生基準に基づき環境衛生に関する検査を実施する。	目標値	(単位:回)	280.00	280.00
	実績値			(単位:回)	280.00	280.00	
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	実施検査数 (検査4回×校数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		105.24	109.27
				一般財源(単位:千円)		105.24	109.27
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校保健安全法に基づき、継続して実施する。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校環境衛生管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	00912				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00912
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年度から、これまで以上に児童・生徒の衛生環境向上を図るため、学校プール水質検査の検査項目を以下の3項目追加した。  
 (1)一般細菌検査  
 (2)有機物等(過マンガン酸カリウム検査)  
 (3)循環ろ過装置処理水検査

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法及び同法に基づき策定された学校環境衛生基準により、幼児、児童、生徒の健康の保護のために学校の環境を維持する必要があることから、今後、事業を拡大の方向にて進めていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	学校事故補償等事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和35年度	改正内容	関連法案の改正の伴う改正											
(2) 直近の改正	平成28年度													
(3) 根拠法令等	独立行政法人日本スポーツ振興センター法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小中学校に通う児童、生徒											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校管理下での事故等の場合に、対象者が補償を受けられるようにする。												
(7) 事業概要	日本スポーツ振興センター災害給付制度及び全国市長会学校災害賠償補償保険により、児童、生徒への学校管理下の事故等に対する補償を行う事業													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	02	大事業	02	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		30,129	29,283	30,465	29,693	30,586							
	人件費	職員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80						
		総額(B)	千円	6,682	6,432	6,536	6,320	6,442						
	総事業費(A+B)		36,811	35,715	37,001	36,013	37,028							
	特定財源(C)		10,488	11,090	10,727	11,382	10,833							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	10,488	11,090	10,727	11,382	10,833							
	市負担(D)		26,323	24,625	26,274	24,631	26,195							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		26,323	24,625	26,274	24,631	26,195								
財源計(C+D)		36,811	35,715	37,001	36,013	37,028								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 児童、生徒数	目標値	(単位:人)	29,470.00	29,683.00	30,266.00
			実績値	(単位:人)	29,470.00	29,683.00	
		達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法 日本スポーツ振興センターへの掛金を支払う児童、生徒の対象者	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.21	1.22		
			一般財源(単位:千円)	0.84	0.84		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 児童、生徒の事故等の補償	目標値	(単位:件)	3,393.00	3,474.00
	実績値			(単位:件)	3,474.00	3,358.00	
	達成度(%)		102.4	96.7			
	目標値の積算方法 児童、生徒の事故等の補償件数 目標値は過去3年間の実績値平均	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.28	10.79		
			一般財源(単位:千円)	7.09	7.40		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校管理下での事故等の補償を受けられることによって、児童、生徒の学習活動が確保されること及び保護者の医療費等の負担が軽減されることから、安心安全な公教育の推進に寄与することができるため、今後も事業を継続して実施する。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校事故補償事業	事業区分	その他
事務事業番号	00913				

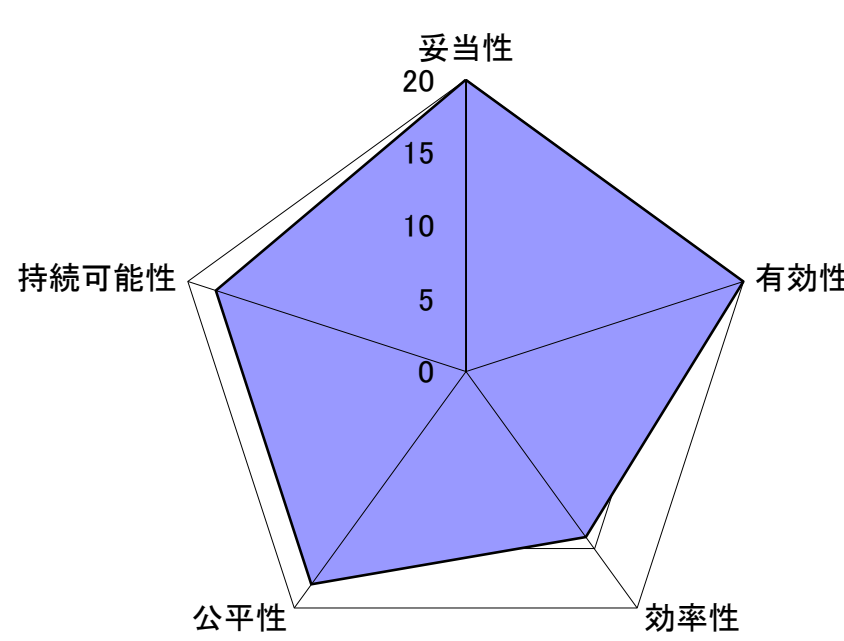
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健給食室	事務事業番号	00913
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>日本スポーツ振興センター災害給付制度及び全国市長会学校災害賠償補償保険に加入することにより、学校管理下において事故が起こった場合に、児童、生徒が給付金等の補償を受けており、事業の有効性は高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

全国市長会学校災害賠償補償保険は、平成29年度からこれまで選択制だったため付帯していなかった財物賠償が必須付帯となる。

## 事務事業評価調書

事務事業名	給食施設管理事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正 内容	学校給食を活用した食に関する指導の充実 学校における学校給食の水準及び衛生管理を確保するための全国基準の法制化											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	学校給食法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小学校の児童及び学校関係者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。 教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。												
(7) 事業概要	給食設備等の点検や清掃、また、老朽化した給食調理室、給水管、昇降機等の改修工事を行う。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	03	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		33,658	36,362	379,454	338,527	136,221							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.50	1.50	1.50						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	12,255	11,850	12,078						
	総事業費(A+B)		42,010	44,401	391,709	350,377	148,299							
	特定財源(C)		0	0	10,516	0	0							
	(内訳)	国	0	0	10,516	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		42,010	44,401	381,193	350,377	148,299							
	(内訳)	地方債	0	0	175,100	175,100	22,900							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		42,010	44,401	206,093	175,277	125,399								
財源計(C+D)		42,010	44,401	391,709	350,377	148,299								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	給食設備の保守点検、清掃業務の実施		目標	定期的、計画的に点検及び清掃を行う。	
	②	成果内容	空調機器、小荷物専用昇降機の保守点検、分離槽・下水管の清掃等を行った。		達成状況	定期的、計画的に点検及び清掃を行った結果、安心・安全な給食提供が継続できた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校給食に関する施設・設備の経費であるため必要不可欠な事業であるとする。今後、施設・設備の改修及び保守に係る経費については効率的な実施方法を選択し、経費の削減に努めていくが、老朽化が激しく事業費の増大は避けられない。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	給食施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00914				

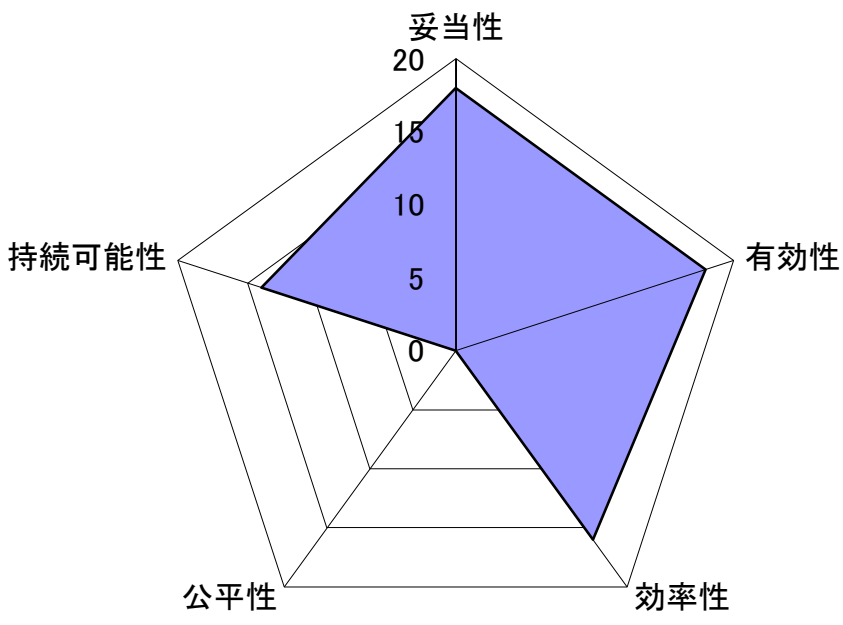
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00914
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>給食施設・設備の老朽化が進んでおり、改修工事が急務である。 給食に関する施設・設備を整備し、引き続き、衛生的で安全な環境を保つためには、事業の継続は必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調査

事務事業名	学校給食運営事業				
担当部署	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正内容	学校給食を活用した食に関する指導の充実 学校における学校給食の水準及び衛生管理を確保するための全国基準の法制化											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	学校給食法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市立小学校の児童及び学校関係者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。												
(7) 事業概要	学校給食法に基づき、衛生的に良好な調理及び安全衛生管理に基づいて給食運営を行い、日々の学校給食を児童等に提供する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	03	大	01	中	02	小	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		315,297	311,106	344,668	335,421	366,534							
	人件費	職員数	人	81.50	81.50	80.00	80.00							
		総額(B)	千円	680,688	655,179	653,600	632,000							
	総事業費(A+B)		995,985	966,285	998,268	967,421	986,538							
	特定財源(C)		9,092	9,143	10,458	10,324	11,637							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	9,092	9,143	10,458	10,324	11,637							
	市負担(D)		986,893	957,142	987,810	957,097	974,901							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	986,893	957,142	987,810	957,097	974,901							
財源計(C+D)		995,985	966,285	998,268	967,421	986,538								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① (株)東洋食品 ② (株)テストパル ③ シダックス大新東ヒューマンサービス(株)											
		主な委託内容	市内小学校8校での給食業務の一部委託。											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	① ② ③											
		内容												
<input type="checkbox"/> その他														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が指標で場合せず	①	活動内容	小学校給食を実施する。		目標	小学校児童等を対象に給食を提供する。	
	②	成果内容	安心・安全で栄養バランスのとれた給食の提供を行った。		達成状況	児童及び学校関係者に給食を提供し、平成28年度の年間延べ給食数は、約421万6千食であった。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校給食の運営については、民間の力も活用し、事業の効率化を図りながら、安心・安全、教育的な面からも継続が妥当である。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	学校給食運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00915				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00915
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小学校給食については、アウトソーシング推進計画により平成30年度までに9校を民間委託するよう進めている。          平成24年度(初年度)から3小学校、平成25年度1小学校、平成26年度2小学校、平成27年度1小学校、給食調理等業務について民間への委託を開始しており、平成28年度も1校で委託を開始した。          学校給食は法に基づく事業であり、安心・安全、教育的な効果から、市が関与すべき事業であると考え</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	厨房用備品更新事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正 内容	学校給食を活用した食に関する指導の充実 学校における学校給食の水準及び衛生管理を確保するための全国基準の法制化											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	学校給食法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小学校の児童及び学校関係者											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスのとれた給食を提供する。 教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。												
(7) 事業概要	学校給食に使用する厨房用備品のうち、老朽化したものを計画的に更新する。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	03	大事業	01	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		22,627	22,305	21,721	21,676	21,696							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		30,979	30,344	29,891	29,576	29,748							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		30,979	30,344	29,891	29,576	29,748							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		30,979	30,344	29,891	29,576	29,748								
財源計(C+D)		30,979	30,344	29,891	29,576	29,748								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	厨房用備品の更新を行う。			目標	老朽化した厨房用備品を計画的に購入する。	
	②	成果内容	老朽化した厨房用備品の更新によって、機器の能力低下による事故を防いだ。			達成状況	計画的に厨房用備品を購入した結果、安心・安全な給食提供が継続できた。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		学校給食に関する厨房用備品の経費であるため必要不可欠な事業であるとする。今後、耐用年数を過ぎた備品の購入については効率的な実施方法を選択し、経費の削減に努めていくが、多数の備品で老朽化が進んでおり事業費の増大は避けられない。					

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	厨房用備品更新事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00916				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
③適正な受益者負担を求めていますか。				
※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00916
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

各学校で厨房用備品の老朽化が進んでいる。  
 厨房用備品については、経年劣化等により修理が出来ない状況を防ぐため、毎年計画的な更新が必要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	18	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	5
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	5														
(3)現状分析															

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	給食用物資購入資金貸付事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和22年度	改正 内容	学校給食を活用した食に関する指導の充実 学校における学校給食の水準及び衛生管理を確保するための全国基準の法制化											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	学校給食法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	市立小学校の児童及び学校関係者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	児童等に安全で衛生的かつ栄養バランスの取れた給食を提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	教育の一環として食事のあり方を体得させ、児童の体位・体力向上と健康増進及び給食を通して心の交流を図り、好ましい人間関係の育成が図れる。												
(7) 事業概要	<p>学校給食を実施する吹田市学校給食会に対して、学校給食用物資購入資金の貸付けを行う。          学校給食用物資の支払いは、月末締め翌月支払いとなっております。4月分の給食用物資の支払を5月に行うには、約6,000万円以上必要となりますが、学校からの4月分給食費の入金は、年度当初の手続き上、4月5月分が例年6月に振り込まれます。5月の支払い時点で、資金不足になることから、貸付金を受けることにより学校給食用物資4月分の支払いを行います。他に、各月の給食回数により当月分の給食収入よりも給食用物資の支払の方が高額になることがあるため、貸付金を使用します。          なお、貸付金については、年度末に全額返還します。</p>													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	03	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		50,000	50,000	50,000	50,000	50,000							
	人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50							
		総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950							
	総事業費(A+B)		54,176	54,020	54,085	53,950								
	特定財源(C)		50,000	50,000	50,000	50,000								
	(内訳)	国	0	0	0	0								
		府	0	0	0	0								
		その他	50,000	50,000	50,000	50,000								
	市負担(D)		4,176	4,020	4,085	3,950								
	(内訳)	地方債	0	0	0	0								
		その他	0	0	0	0								
一般財源		4,176	4,020	4,085	3,950									
財源計(C+D)		54,176	54,020	54,085	53,950									
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	学校給食を実施する吹田市学校給食会に対して、学校給食用物資購入資金の貸し付けを行う。			目標	給食物資の購入業者への支払を滞りなく行う。
	②	成果内容	4月分の物資の支払等に対して使用し、年度末に全額返還した。			達成状況	貸付金の使用により、安心・安全な給食提供が継続できた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		小学校給食を運営するうえで、給食物資の購入業者への支払いを滞りなく支払いをするためには、貸付金を使用することは、必要であるとする。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	給食用物資購入資金貸付事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00917				

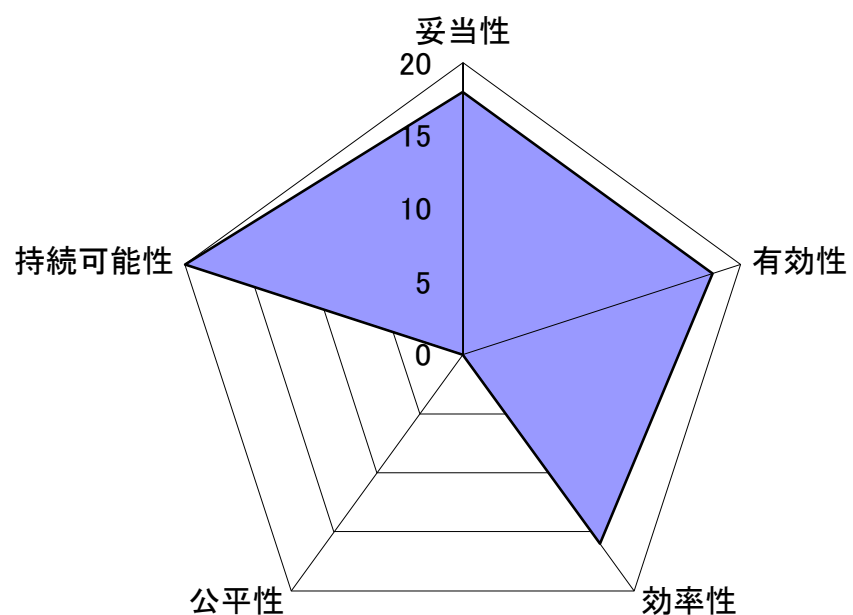
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	00917
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成26年度から消費税が8%に増税されたことに伴い、小学校給食の給食費の値上げを実施し、学校給食会の予算が9億となりました。このことから、1か月に支払う金額が7000万円を超える月が発生しているため、これまで貸し付けていた5000万円では不足する恐れがあります。食材費等の各事業の支払いは毎月ごとに行うため、不足額を発生させないためには事業の継続は妥当であり、貸付け金を6,000万円に増額する必要があると考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	中学校給食運営事業				
担当部署	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成20年度	改正内容	学校給食を活用した食に関する指導の充実 学校における学校給食の水準及び衛生管理を確保するための全国基準の法制化											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	学校給食法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市内全18校の中学生											
	目標 (どのような状態にしたいのか)	中学生に安全で栄養バランスに配慮した給食を提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成長期にある中学生に、安全で栄養バランスに配慮した給食を提供することにより、健康増進を図るとともに、健全な食習慣を身につけ、自らの健康を管理できるようにする。												
(7) 事業概要	<p>事前に希望する日を選んで申し込み「選択制」の給食で、調理は民間の事業者者に委託しています。          申込方法は、「吹田市中学校給食登録申請書」を提出して予約システムに登録し、インターネット・マークシートを利用して、前月の20日まで(月の後半については当月5日まで)に予約します。          保護者等が負担する給食費は1食300円で、登録後に給食費を前納してもらい、残額の範囲内で給食を予約することができます。</p>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	10	項	06	目	03	大	03	中	01	小	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		71,009	67,796	67,008	64,115	73,658							
	人件費	職員数	2.00	3.00	2.00	3.00	3.00							
		総額(B)	16,704	24,117	16,340	23,700	24,156							
	総事業費(A+B)		87,713	91,913	83,348	87,815	97,814							
	(内訳)	特定財源(C)		16	15	17	11	3						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		16	15	17	11	3						
	(内訳)	市負担(D)		87,697	91,898	83,331	87,804	97,811						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		87,697	91,898	83,331	87,804	97,811								
財源計(C+D)		87,713	91,913	83,348	87,815	97,814								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 株式会社 松ちゃん給食											
			② 株式会社 お弁当の浜乃屋											
			③											
			主な委託内容 給食の調理、配送、配膳等											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 中学校給食の喫食率	目標値	(単位:%)	50.00	50.00	50.00
			実績値	(単位:%)	14.64	13.80	/
		達成度(%)		29.3	27.6		
	目標値の積算方法 給食申込者数÷給食対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6,278.21	6,385.09		
			一般財源(単位:千円)	6,277.19	6,384.29		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/
	達成度(%)		0.0	0.0			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
		達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容	喫食率の向上に取り組む			目標	成長期にある中学生が健全な食習慣を身につけ、自らの健康を管理できるようにする。	
	②	成果内容	説明会や試食会等を積極的に開催し、中学校給食の目的や特徴を保護者に説明する機会を設けた。			達成状況	喫食率は昨年度より下がっており、喫食率の向上という数値的な効果には表れなかった。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>成長期にある中学生に栄養バランスに配慮した給食を提供することは、健康な身体を育み、健全な食習慣を身につけるという点からも非常に重要な事業であると考えられるので、当面、本事業を継続して実施する。</p> <p>昨年度より低下した喫食率については、給食利用と家庭からの弁当持参等を生徒や保護者が自由に選択できる方法であるため、必要な生徒に安心な給食を確実に提供することが第一義であるが、生徒・保護者・学校の意見を参考にしながら、引き続き、向上を目指していく。</p> <p>また、「選択制」という方法は、生徒が自らの健康を管理する意識付けにつながるものと考えているが、本市の導入時とは、大阪府内の他市の状況が大きく変化しており、実施方法の変更を含めて、今後の中学校給食の在り方を再検討をする必要があると考えている。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	中学校給食運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00918				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3			点
(3) 効率性 (20点)	16			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5			点
③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5			点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5			点
(5) 持続可能性 (20点)	18			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健給食室	事務事業番号	00918
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

現行の給食実施方法(民間調理場活用方式による選択制給食)を継続するものとして評価を実施しているが、今後の中学校給食について、給食実施方法等を再検討する時期を迎えている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>現在市内全18校で中学校給食を実施しているが、全校合計の喫食率は平成27年度の「14.6%」から「0.8ポイント」下がって、平成28年度は「13.8%」になっている。 平成25年9月から、予約回数を月1回から2回に増やして、予約申込の利便性を高めているが、明確に喫食率の向上につながったとは言えない。 今後も、生徒・保護者・学校の意見等も参考にしながら、生徒の関心を高めるような献立面での工夫や試食会等を通じた保護者へのPR等、引き続き、利用者数を増加させるための努力をしていく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

府内の近隣各市では、中学校給食を様々な方法で実施しており、ここ数年で、実施方法を変更している自治体(大阪市・高槻市等)もある。仮に変更する場合に必要な経費を試算するなど、それぞれのメリット・デメリット等を比較・分析して、引き続き、今後の本市の中学校給食のあり方について検討していく。



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市学校保健会補助金事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和37年度	改正 内容	吹田市学校保健事業補助金交付要綱を施行し、補助金対象事業を明確にした。					
(2) 直近の改正	平成18年度							
(3) 根拠法令等	吹田市学校保健事業補助金交付要綱							
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	吹田市学校保健会					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	学校保健の振興を図り、学校教育の円滑な実施に寄与する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校教育の円滑な実行と成果の確保が図れる。						
(7) 事業概要	学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び教職員等で構成し、学校・園の健康診断及び学校保健に関する事項の検討、調査、研究を行うことにより学校保健の振興を図ることを目的とする学校保健会に対し、補助金を交付して支援する事業							
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		327	243	327	239	327	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		総額(B)	千円	0	0	0	0	0
	総事業費(A+B)		327	243	327	239	327	
	特定財源(C)		0	0	0	0	0	
	(内訳)	国		0	0	0	0	0
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		327	243	327	239	327	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		327	243	327	239	327		
財源計(C+D)		327	243	327	239	327		
(10) (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
			②					
			③					
	主な委託内容							
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	吹田市学校保健会				
②								
③								
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目		項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が指標で難示 場合		①	活動内容	会議、研究大会、講演会等を行う(年間12回)。		目標	学校保健の振興、学校教育の円滑な実施に寄与する。
	②	成果内容	検診内容の検討、感染症対応マニュアル等の作成、研究大会・講演会開催による知識の普及、啓発		達成状況	学校保健の振興、学校教育の円滑な実施に寄与している。	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	吹田市学校保健会は、学校保健・安全に関する課題の検討や学校保健の振興に必要な指導、計画等を行っており、その重要性の高さから、今後も継続して事業を実施する。				
	評価の説明						

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	吹田市学校保健会補助金事業	事業区分	その他
事務事業番号	01343				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	01343
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市学校保健会は、保健所等関係機関の助言をもらいながら、学校保健・安全に関する課題の検討や学校保健の振興に必要な指導、計画等を行っており、事業の有効性は非常に高い。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	児童等健康管理事業				
担当部名	学校教育部	室課名	保健給食室	室課長名	橋本 健一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和33年度	改正内容	関連法案の改正に伴う改正				
(2) 直近の改正	平成28年度						
(3) 根拠法令等	学校保健安全法						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり	節	01	細節	14
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市立小中学校・幼稚園に通う幼児、児童、生徒				
	結果 (どのような効果が得られるのか)	幼児、児童、生徒の健康の保持増進を図る。 学校教育の円滑な実行と成果の確保を図ることができる。					
(7) 事業概要	学校保健安全法に基づきAED、うがい器等の学校・園の設備の充実に努め、幼児、児童、生徒の健康な身体と快適な学校・園生活を保障する。 AEDにおいては、平成29年度より耐用年数はメーカー推奨の7年間とした。						
(8) H28事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		4,564	3,106	1,179	456	8,600
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
		総額(B)	418	402	409	396	403
	総事業費(A+B)		4,982	3,508	1,588	852	9,003
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		4,982	3,508	1,588	852	9,003
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		4,982	3,508	1,588	852	9,003	
財源計(C+D)		4,982	3,508	1,588	852	9,003	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
	主な委託内容						
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	AED、うがい器等の学校・園の設備の充実に努める。			目標	幼児、児童、生徒の健康の増進を図る。
	②	成果内容	うがい器の購入及び修繕並びにAEDパッド、バッテリー等の購入等を行った。			達成状況	幼児、児童、生徒の健康の増進を図ることができた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		学校保健安全法に基づき、継続して実施する。				

## 事務事業分析シート

所属名	保健給食室	事業名	児童等健康管理事業	事業区分	その他
事務事業番号	01369				

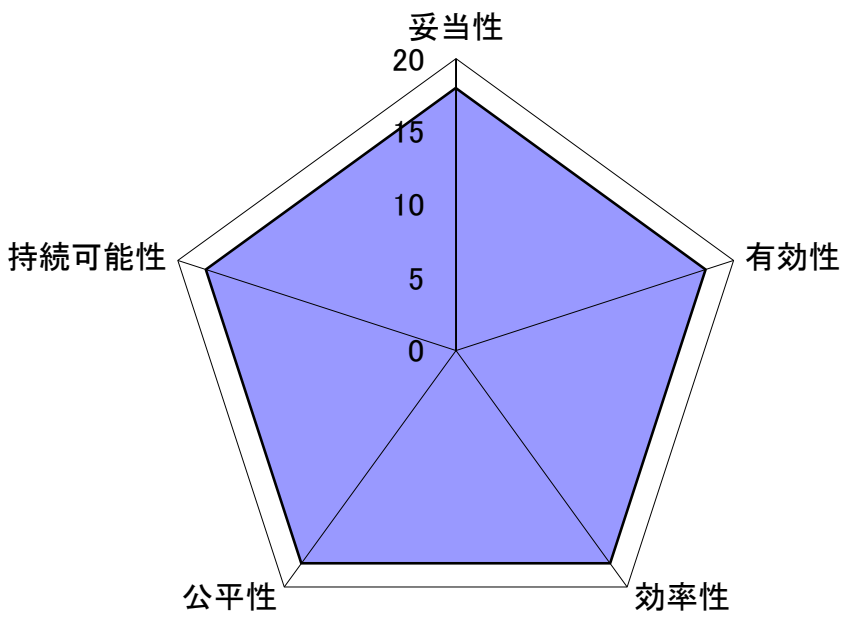
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健給食室	事務事業番号	01369
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>学校保健安全法で幼児、児童、生徒の健康増進を図るための学校の施設及び設備の整備充実に努めることとされており、事業を行うことは妥当である。  また、幼児、児童、生徒の健康の保持増進を図るために有効である。  なお、全学校に配置しているAEDは、耐用年数が7年であるため、順次、機器更新を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)